

2 道内の地域資源を活かしたゼロカーボン社会の構築Ⅰ

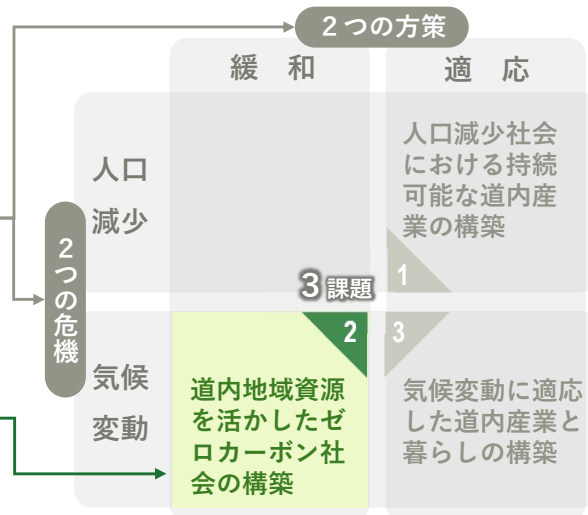
-地域資源を活用したエネルギーの地産地消と温室効果ガス削減シナリオの提案-

【第4期戦略研究のねらい】

- 本道が中長期的に直面し、かつ社会へ大きな影響を及ぼす2つの危機「人口減少」「気候変動」に対して、「緩和」「適応」という2つの方策の視点から、3つの課題に戦略的に取り組む。

【本研究課題の目的】

- 「気候変動」に対して「緩和策」という視点から、本道におけるエネルギー需給や森林の温室効果ガス（GHG）吸収能の実態を把握するとともに、地域特性を踏まえたGHG排出抑制や吸収に対する多様な課題に取り組み、GHG削減を推進する。



担当試験場 酪農試験場、畜産試験場、林業試験場、林産試験場、中央水産試験場、エネルギー・環境・地質研究所、北方建築総合研究所

共同研究機関 秋田県立大学、信州大学

実施内容 地域特性に対応したGHGの削減方法の提案に向け、市町村別のエネルギー需給やバイオマス利用の実態把握と利用促進技術の検討、一次産業分野におけるGHGの排出・吸収量の精緻化を行う。

【抑制】

1-1 GHG排出及び削減に関する地域性の実態把握

1-2 GHG削減のための未利用バイオマス利用拡大技術の検討

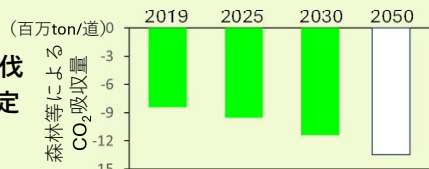
2 牛呼吸GHG低減量の精緻化：未利用資源混合飼料の給与によるメタン産生量の抑制効果



【吸収】

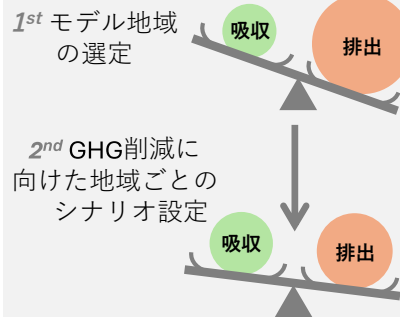
3-1 天然林における炭素吸収量と伐採木材製品の炭素蓄積量の算定技術の高精度化

3-2 炭素吸収効果を促進するための森林化技術の提案



4 海藻養殖技術開発によるブルーカーボンの推進：機焼けの解消による炭素貯留効果の促進

5 エネルギーの地産地消の可能性評価と温室効果ガス削減効果の試算



3rd エネルギーの地産地消の可能性評価と温室効果ガス削減効果の試算

期待される成果

- ◎分野横断的なGHG排出量および吸収量の現状把握
- ◎市町村等の産業特性に即してGHGの削減方策を選択するための基礎情報の提供
- ◎市町村等に対応したエネルギーの地産地消・効果的なGHG削減方策の提案

活用策

- ◎GHG削減に向けた行政施策等の立案
- ◎北海道支地球温暖化対策推進計画の推進

展開ロードマップ GHG排出・吸収量の精緻化とGHG削減効果の試算

2030

- ・地域に対応した削減シナリオの提案と課題の抽出

削減シナリオの実現に向けた各種の実用研究

- ・行政施策の立案等への展開

2035

GHG削減に向けた研究成果の社会実装

- ・ゼロカーボン社会の推進